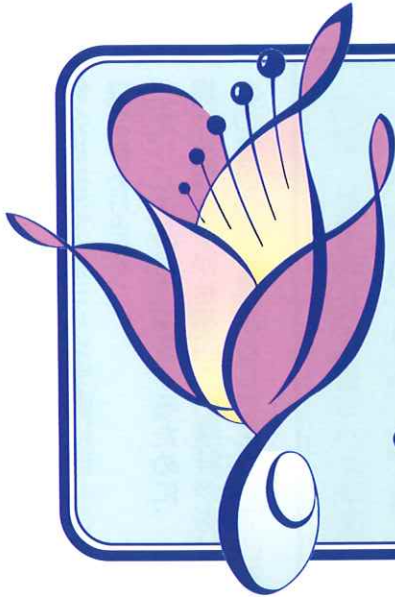


自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。(レビ記 19-18)
人してもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。(マタイ 7-12)



ひびきあい HibikiAi

聖ヨハネ学園だより

発行：聖ヨハネ学園 〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1
TEL&FAX072-687-0548



ミス・ブール記念ホーム
施設長
村上 徳光

「今」に感謝して、今日という日に最善を尽くす。

2023年4月1日に高齢

者総合ケアセンター「ミス・ブール記念ホーム」の施設長に就任させていただきました、村上徳光と申します。

桃山学院大学を卒業し、大阪YMCAをスタートに、北九州・和歌山・姫路・京都・舞鶴の各YMCAの教育部門で勤務し、定年退職後に縁あって、「社会福祉法人光朔会オリンピア」で保育園園長に就任し、「聖ヨハネ学園」に請われてまいりました。
今までの職の中で、介護福祉士の養成校で長年授業や進路指導をして送出してまいりましたが、今回は逆の立場の

受け入れる立場となりました。介護はどちらが上ではなく、その人と共に生きていくことと思っています。

よく、ものづくりの現場では、「昨日のことは忘れろ。明日のことは考えるな」と言います。それは、昨日と比べて「昨日あれだけ出来たならば、今日はこれで良いか」と甘えが出来ますし、明日があると思えば「明日があるし、今日はこれで良い」と心が緩みます。今日という日に最善を尽くすことが大切だと言うことです。「最初で、唯一で、最後」という緊張感を持ちながら毎日生きることは難しいですが、今日を大切にしようにと、学生たちに教えてきました。人は嫌なことや困難なことを避けたい時は、安易な方向へ進みますが、人生は与えられ

た場所や立場は神様が決められたことであり、そのことに一生懸命に努力することが大切と思っています。今までに多くの困難なことがありましたが、周りの人に助けていただいて乗り越えてまいりましたが、これからは神様がお与えになった試練と受け止めて前に進んで行きたいと考えています。

ある人が「この世に雑用というものはない。自らがそう思って用を雑にした時に雑用となる」といった言葉をいつも心の中に持って、どんな仕事も大切にし、心を込めて、少しの工夫をするだけで、単純に思える仕事も価値あるものになると考えて、より一層の努力をしておりますので、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

●社会福祉法人聖ヨハネ学園には「いのちがかがやくために」という法人理念があります。
また、この理念を実現するために、「ご利用者」「地域」「職員」「職場」をかがやかせる四つの指針があります。今回は、法人理念がそれぞれの施設の取り組みとして花開いている事例をご紹介します。

指針 社会福祉法人聖ヨハネ学園 **理念**

「いのちがかがやくために」

◆ご利用者が かがやくために

私たちは、ご利用者一人ひとりの尊厳を平等に守り、心をこめてそれぞれのニーズを受けとめ、それぞれの人がその人らしく、より豊かに主体的に生活されるよう、精一杯の努力をします。

◆地域と共に かがやくために

私たちは、広く社会の信頼にこたえるため、法令を順守するとともに、熱意と良心をもって、関わりのあるすべての人々と協力し、地域とひびき合う福祉ステーションとして地域社会に貢献します。

◆職員が かがやくために

私たちは、創始者リーラ・ブールの働きを受け継ぐものとしての自覚をもち、心身の健康管理と自己研鑽に努め、向上心をもって日々の業務を工夫しつつ、それぞれの専門性を高めるよう努めます。

◆職場が かがやくために

私たちは、創立以来の伝統である「愛」の精神に基づき、勤務形態・勤続年数・職種・職位・立場をこえて互いに認め合い、学び合い、より明るく生き生きと働ける職場を築きます。

聖ヨハネ学園

令和四年三月十一日、学園を巣立つ四名のお祝い会が行われました。不安を感じながらも清々しい顔で旅立つ子どもたちを、職員は無量の気持ちで送り出しました。

子どもたちは、いつかここを旅立ちます。しかし保護者のもとへ帰ることが難しく、自立して一人暮らしをしていく子どもたちも多いため、十分なスキルを積み重ねて安定した生活基盤



を備えることが求められます。そういった安心があつてこそ、学業や仕事に専念することができ、それが施設を出た後の人生を輝かせることになるからです。

そんな生活スキルを身につけるため、近隣にマンションを借りて、料理や掃除、洗濯をしながら、一人で生活をするという体験をします。職員ともいろいろな話をして、卒業後のイメージをつくります。職員と過ごす時間が信頼を深めることに繋がっており、卒業後に困ったことがあつても一人で悩まずに学園を頼ることができるようになります。



一人で社会へ旅立つ不安は相
当なものです。在園時だけで
はなく卒園後もかがやき続ける
ために、つながり続ける支援を
行っています。

下田部保育園

法人理念にある「地域と共に
かがやくために」を体现するた
めに、月に1度、民生委員や保
育士、看護師、栄養士など地域
全体で連携して交流の場「のび
のび広場」という地域子育て支
援事業を開催しています。地域
の人と仲良くなることで相談が
スムーズになり、適切な支援に
つなげやすくなるのが強みだ
と感じています。

ご利用者の中には、友人がい
ないことなどで悩んでいる人も
多く、交流の懸け橋になれるよ
うスタッフから声掛けなどもし
ています。また、子どもの成長

に不安を感じている人も多く、
相談に乗ることで安心したと話
してくださる方もいます。

子育てで大事なことは、孤立
しないことです。子どもを遊ば
せながら気軽に相談できる場所
があるんだと気づいてもらいた
いです。寄り添って一緒に解決
策を考えてくれる人は園や地域
にたくさんいるので、一人で悩
まずにぜひ頼ってほしいと思っ
ています。

私たちは、これからも地域と
ひびき合う福祉ステーションと
して地域社会に貢献するために、
多様なサービ
スを実現して
いきます。



ミス・ブルー 記念ホーム

昭和56年に創設されたミス・
ブルー記念ホームは今年で創立
42年目を迎えます。先人たちが
築きあげてきた施設ですが、少
子高齢化による労働力減少の影
響を受け、昨年度から法人内の
事業所で初めて外国人採用を行
いました。

現在、インドネシアとミャン
マーより3名の方を受け入れ、
介護の仕事に奮闘いただしてい
ます。話す言葉は違っても、来
日された方々は家族をとっても大
切にし、家で介護し看取ること



を当たり前と考え、【高齢者に
何かしてあげたい】という想い
を強く持っていたいただいています。
食べるものも文化も習慣も全く
異なる中、お正月やクリスマス、
節分などの行事を盛り上げ、時
には日本の文化を楽しみながら
も頑張ってくれています。

ただし、同じ日本語能力試験
で合格していても日本語の理解
はさまざま、日本語や日本の
文化の理解力を培うためにはど
のように教育・指導をするべき
かという課題が生じています。

ご本人たちの【高齢者に何か
してあげたい】想いを損なわな
いよう、法人の理念で謳ってい

る「職場がかがやくために」、ミス・ブル記念ホームで働くすべての職員が生き生きと働ける職場を築けるよう、今後も職員間で工夫し努めていきたいと考えています。

ゆう・あいセンター

ゆう・あいセンターでの受託事業は、デイサービスや手話通訳・法律相談・相談支援・手話や点字の講習会、福祉講習会やふれあいイベント等、市民の皆様幅広いサービスをご提供しています。

これらの活動を通じて、地域社会とのつながりを深めており、イベントを通して交流が深まった市内の高校や大学とのご縁へとつなげさせていただく事が出来ております。

その流れで、センターの30周年記念フェスタにハンドベルの

演奏をご披露いただき、デイサービスのご利用者とお水鉄砲で撃ち合い、顔中びしょ濡れになりながらも、満面の笑みを浮かべる姿を見た大学の助教が「学校では絶対見せない表情。」と驚かれておられた事がありました。

また学生の保護者もボランティアとして参加されたり、高槻市が主催される福祉展への出展をご紹介させていただいたりする様なつながりも生まれました。ここ数年は世相を表す様に、ゆう・あいセンターも静まり返っていましたが、コロナ対策の緩和が進むにつれ、ご利用者の活動も徐々に賑わいを見せ、こ



のセンターが一つの地域である事を実感しています。

引き続きゆう・あいセンターを安心してご利用いただける様な適切な措置を講じながら、嵐の夜明けにキラキラと光る雫のよう、に、「地域と共にかがやく」といと思います。

うの花療育園

当法人の理念の制定より約2年前の2006年、当園に通園するお子さんだけでなく、地域の支援が必要なお子さんを対象とした「3歳児親子教室うさぎ組」が始まりました。きっかけは2歳児の「めばえ教室」を終了した後、公立幼稚園入園の4歳児までの1年間在宅になってくる子どもや、3歳6カ月健診で支援が必要とする子どもの小集団での育児支援の必要性を感じたからでした。当初は当



園での試行の後、高槻市と協力し公立幼稚園の地域支援事業の一環として、公立幼稚園の空き教室というスペースと当園の職員というマンパワーの資源をお互い持ち寄って実施しています。対象児のほとんどが次年度公立幼稚園の入園希望で、気兼ねなく参加しやすい場所であること、そこでの集団活動の中で子どもの発達や状況に合わせて丁寧な支援を行なうことで、関わりにくさのある子どもの保護者が子どもの課題に気づいたり、安心

して相談できます。幼稚園で過ごす経験から、入園後、園生活をスムーズに送れているとの感想も聞かれています。

現在、少子化や、3歳児無償化制度による私立幼稚園や子ども園人気等によって、参加者は減少していますが、公立幼稚園の職員からのニーズは高いです。「地域と共にかがやくために」社会情勢を踏まえつつ、地域での取り組みを続けていきたいと考えています。

地域生活支援センター光

地域生活支援センター光では夏祭りや運動会、クリスマス会など、季節にあわせて様々な行事を行っています。ご利用者のなかには障がい特性から、大勢の人と過ごしたり、大きな声や音が苦手な方など、行事への参加が難しい方も少なくありま

せん。

これまではそういったご利用者は行事への参加を諦めていましたが、最近ではご利用者お一人おひとりの障がい特性を分析して改善を図っています。

集団での活動に不安があるご利用者には、運動会ではZoomを活用してオンラインで参加できるような競技を工夫しました。当初は参加することに大きな不安を感じていたご利用者でしたが、画面越しで競技に参加され、「これならしんどくならない。参加出来てよかった。」と楽しむと同時に自信にもつながっていました。

また、音声過敏のあるご利用者のためにイベントの前半は大きな声を出したり、大きなBGMを使わないなどして刺激の少ない時間を設定することで、不安を避けつつも楽しむことができました。

障がい特性による課題を無理に集団生活にあてはめるのでは

なく、楽しむための創意工夫を凝らして、これからも「ご利用者がかがやく」支援を目指していきます。



聖ヨハネ子どもセンター

聖ヨハネ子どもセンターでは、「お子さまがかがやくために」大切にしていることのひとつ

に、「お子さまの気持ちに寄り添い、その気持ちを尊重、共感、代弁していくかわり」があります。また、そのためには、子どもの行動の背景をよくみることもあわせて大切にしています。子どもの行動の背景に心を寄せると、それぞれの子どもの気持ちがたくさんあります。

「嬉しい！みて！」という気持ちの他にも、「思うようにならないことが積み重なっていた」、あるいは「状況がよくわからず、不安になっていた」など、さまざまな悲しい気持ち、不安な気持ちが見あつていたり、または「もつとわたしをみて」という気持ちを持っていたりすることがよくあります。

それぞれの、またその時々のお子さまが感じる気持ちを尊重し、「うだったんだね」など気持ちを共感・代弁していくことによって、お子さまが自分の気持ちを安心してだせること、人とのかわりの心地よさを感じ

ていくことにつながればと思います。

それらは、また自分や大人への信頼感を高めていくこと、主体性や意欲を高めていくことなどにつながり、それぞれが輝く力になると思っています。「お子さまがかがやくために」お子さまの気持ちに寄り添いながら、これからも子どもセンター職員一同、邁進していききたいと思えます。

理事長の日々

理事長 田尻忠邦

足かけ4年に亘って私たちを悩ませてきた新型コロナウイルススも、ようやく落ち着きを見せ始め、3月13日からはマスクの着用が個人の意思に委ねられ、5月8日から感染症の種別が2類から5類に引き下げられることになっていきます。そうすれば、高齢者や障がい者の介護施設で



は、面会の規制も緩やかなものとなり、ご利用者様のご家族の意向に沿った形での面会も再開されることでしょう。また、各施設でこれまで自粛や規模を縮小してきた各種行事も従来の形で実施できることだと思えます。同時に感染防止策はこれまで通りに励行しなければならぬというジレンマを感じずにはいられません。職員のみならずにおかれましては、これまで通りの対応をよろしくお願いいたします。

ます。

ウィズコロナからポストコロナに移行すると、社会福祉法人として期待されるのは、地域貢献プログラムの再開です。これまで、多様なテーマでの地域公開講座や、独居老人への昼食提供など、各施設においては様々な取り組みがなされてきたと思います。これまでやって来たことに加えて、新たな取り組みをしていかなければならないと思います。例えば、SDGsとの関連でフードロスをなくすためのフードバンクの開設や子ども食堂にチャレンジするなど、できることはたくさんあるはずだと思います。大事な点は、法人の理念にあるようにご利用者、職員、地域、職場がかがやくようなプログラムを実施することです。地域貢献プログラムと大段に構えなくてもご利用者が楽しめて、職員が企画運営することを楽しむことができれば、自ずと地域がかがやき、職場がかがやくの

ではないでしょうか。

今年の6月になると、理事長に就任してまる2年になります。この間、私は何を成し遂げたでしょうか。評価基準を見える化して法人が期待する職員像を明確に示した人事評価制度を導入しました。マイナス評価をすることなく、頑張った人にはその事を正当に評価し、賞与に反映させる制度がこの夏から本格化動します。まだまだ試行錯誤の段階で大きな成果は出ていません。2022年度にICTと人事のプロジェクトチームを立ち上げて、各施設が抱えている課題の抽出をして提言書にまとめてもらいました。2023年度は、それを形にする年です。昨年12月に臨時理事会を召集し、各施設長による事業規模拡大案もしくは新規事業案の発表会を開催した結果、理事会の関心を集めたのは、法人内医療部門の開設案でした。これも今年一年をかけて実現可能性を精査する

ことにしています。ヨハネ学園のブランドの復権についてもマイ・ヨハネ・ストーリーは、主任会議を中心に発表してもらっただけで、職員全体で共有するには至っていません。

こうして2年間を振り返ってみると、未だ私は何事も成していません。うがった見方をすれば、将来に向けた種蒔きは、いくつかしてあると言えるでしょう。しかしながら、芽を出し、つぼみになって花を咲かすまでには至っていません。そこまでの判断は、職員のみならずさまにお任せしますし、正式には6月の理事会において理事長の人事評価がなされることでしょうか。個人的には70歳までには、理事長として形に残る仕事を成し遂げたいと思っています。それが何かは、まだ分かりませんが、次の100年に向けての礎を盤石なものにしたいと常に考えています。

◎チャプレン室からのたより

聖ヨハネ学園の始まり、ミス・リーラ・ブル宣教師に学ぶ

日本聖公会大阪教区 アンデレ磯 晴久 主教

1873年(明治6年)にキリスト教禁令の高札が撤去され、キリスト教が解禁されました。それ以降多くの宣教師がイギリス、アメリカ、カナダからやって来ました。彼らは、「魂」、「体」、「知」これら3つを持って日本へやってきました。なので、宣教師たちは、教会だけでなく、病院、社会福祉施設、保育園、幼稚園、学校を設立しました。ミス・リーラ・ブル宣教師もその一人です。

彼女にふさわしい聖書のことばフィリピの信徒への手紙4章13節「わたしを強めてくださる方のお蔭で、わたしにはすべてが可能です。」だと思えます。

ブル宣教師は、1846年アメリカ合衆国ニューヨーク州レバノンズプリングスの町に誕生しました。裁判官の家庭で、敬虔なクリスチャンである母が

強い影響を受け、多くの知識才能に恵まれた方で、学校の教師として過ごされました。ただ、体が太弱かったそうです。

聖公会の関係諸施設である聖バルナバ病院の初代院長ラニング氏(宣教師)の夫人と親交が深く、日本での日々を嬉しそうに語るラニング夫人の話に惹かれ、日本へのあこがれ、日本への伝道事業に深い興味を持たれたようです。幾度か、宣教師になる申請をしましたが、すでに40歳となっていること(日本語を学ぶことに無理があるのではなか)、何より虚弱な体で、無理はできないとして、その願いは許されませんでした。ところが、すでに日本で活動をしておられたジョン・マキム主教が、大阪で婦人学習会を開くためにふさわしい人はいないかと帰米した折、ブル宣教師と会い、

適任者と判断し、彼女を米国聖公会に推薦し、日本行きが決定しました。

1888年(明治21年)米国聖公会の信徒の人々の祈りの中、4月23日ゲイリック号に乗船、サンフランシスコを出発しました。船酔いに悩まされながら、(神、共にいます、と祈りながら)5月13日、日本到着、横浜に上陸しました。そして23日、ウイリアムス主教と共に大阪へ向かいました。

婦人学習会というのは、1887年大阪に上流階級の女性の教育機関として、大阪知事、造幣局長、軍の司令官(鎮台司令官・師団長)、大阪商工会議所等の呼びかけによって設立された道修町(現在、藤沢薬品)の婦人学習会でした。上流階級の婦人たちに西洋文化を教える学校で、知事らから依頼を受けたマキム主教に最適任者として見い出されたのが、ブル宣教師でした。当時の知事らが、キリスト教会聖公会の宣教師に教育事業を託したのです。

体の弱かったブル宣教師でしたが、(8面へつづく)

(7面からつづく)

24日には学習会を訪問し、26日土曜日は、婦人たちに、聖歌の指導を始めます。これが聖ヨハネ学園とゆかりのある大阪聖ヨハネ教会の始まりの日でした。ブール宣教師は、婦人たちと祈り、この地に教会を与えたいまえと祈ったそうです。この祈りの中から、救児院が設立されていきます。道修町に設立。これが聖ヨハネ学園の前身となりました。

先ほど言いましたように、宣教師たちは、「魂」「体」「知」を課題として、日本にやってきました。

学習会は、関西女子高等女学校と組織を変えましたが、残念ながら、長くは続きませんでした。10年ほどで廃校になってしまいました。

しかし、教会は大阪聖ヨハネ教会(現在、中央区系屋町)として、救児院は聖ヨハネ学園として続いて、今に至っています。ブール宣教師は、今でいう社会福祉



事業にも関心があつたのです。

ブール宣教師は、体は本当に弱かったにもかかわらず、教会の活動(日曜学校・聖書研究会、また京都にある平安女学院の教師として働かれました。1919年休暇で米国に帰国した時には、72歳でしたが、コロンビア大学で幼稚園の教授法を学び、研究もして、日本へ戻ります。神のよき力に守られた、働かれた。聖ヨハネ学園の恩人の一人です。(子どもたちにとっては、よき母でもありました。)聖ヨハネ学園の関係施設博愛社が経営危機に陥った時(1894年頃)、アメリカの知人に手紙を送り、多くの支援を得て、助けたそうです。博愛社の経営者の一人となり、二つの施設に深い愛情を注ぎました。

その他、川口商業学校の英語教師として、定期的に聖バルナバ病院(今は産科、当時は総合病院)を訪問し、病床にある人を慰め、励ました。体が弱かったのに、まことに精力的に生きた方でした。奇跡のような人生を生きた。

それは、神様にすべてをゆた

ね、祈りつつ歩まれたから可能だったのでしょう。最初にご紹介した聖句、フィリピの信徒への手紙4章13節「わたしを強めてくださる方のお蔭で、わたしにはすべてが可能です。」がぴったりの生涯を送られたのです。1924年(大正3年)3月、78歳の誕生日を多くの関係者(学習会、教会関係者、学校、聖ヨハネ学園)がお祝します。ところが、風邪をこじらせて急性肺炎を患い、聖バルナバ病院に入院します。

お見舞いに来た人に、「あなたがたはまだそこにいてくださるのですか。私は神さまに祈っていますから安心して、どうぞ休んでください。」これが最後のお言葉でした。3月20日未明に神様のみもとに帰られたのです。

今、お墓は豊中市にある服部緑地外人墓地にあります。お若い皆様に、このような宣教師がおられたこと、覚えていただきたら幸いです。聖ヨハネ学園はこの恩人を特別養護老人ホーム「ミス・ブール記念ホーム」と命名し、その名を記念しています。隣人愛 キリスト教精神の

上に聖ヨハネ学園は建てられています。
FAITH(信仰)ではなくSPIRIT(精神)なのです。お酒のように、聖ヨハネ学園の皆様の中に血液のように流れてくたさつたら、と願っております。
ご清聴、ありがとうございます。皆様の健康が守られ、よき働きをしてくださるようにお祈りしています。

- 社会福祉法人 聖ヨハネ学園 (法人本部)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 TEL&FAX 072-687-0548
- 聖ヨハネ学園 (児童養護施設)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-687-0541 FAX 072-689-3623
 - 下田部保育園 (保育所)
〒569-0046 高槻市登町1番1号 ☎ 072-671-9960 FAX 072-673-8039
 - ミス・ブール記念ホーム (特別養護老人ホーム/デイサービスセンター/ケアプランセンター/ヘルパーステーション/地域包括支援センター/エンゼル園)
〒569-1031 高槻市松が丘1丁目21番9号 ☎ 072-688-5138 FAX 072-688-4478
 - ゆう・あいセンター (高槻市事業受託/地域活動支援事業Ⅱ型・特定指定相談支援事業)
〒569-0075 高槻市内町1番11号 ☎ 072-672-0267 FAX 072-661-3508
 - うの花療育園 (高槻市指定管理者事業・児童発達支援センター)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番5号 ☎ 072-685-3803 FAX 072-685-3805
 - 地域生活支援センター光 (障がい者支援施設/放課後等デイサービス)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-680-1110 FAX 072-691-8300
 - 聖ヨハネ子どもセンター (高槻市乳幼児療育事業受託/児童発達支援/放課後等デイサービス事業/障がい児相談支援事業)
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-687-7720 FAX 072-687-7722